

諸人のここに学びて—校長室から見える風景—(30)

学校図書館、ろうかの掲示、豊高の日常

先日、学校図書館のいすが一新されました。これまでは昭和の時代から使用してきたであろうもので、ところどころに傷みが目立っていました。新しいすは明るい色で、しかも何色もあり図書館の雰囲気はずいぶん明るくなりました。色が変わると違うものです。しかも座り心地がいいのです!!これは勉強しやすいのでは、と勝手に思っています。

古いすたちは、長らく生徒の読書や自学を見守ってきました。(ちょっと大げさかもしれないですが…)また新しいいすがその役目を担ってくれることでしょう。

そしてもう一つ、校内を歩いていて気づいたものがあります。1年次の教室のフロアのろうかに国語の週末課題の問題集のコピーが貼ってありました。どうやら何人かの生徒が解答し自分で添削(まるつけ)をしたもののコピーのようです。ふせんがところどころに貼ってあります。添削について国語担当者によるGOODポイントが書かれていました。例えば、「本文に文章構成をメモしている」「本文の指示語をチェックしている」などです。

週末課題などはつつい提出することに気が向いてしましますが、同じ課題に取り組むなら自分の力になるように読み込み、解答添削の工夫で力のつき方も違って来るかもしれません。

ちょっとした取り組みや時間の使い方が違いを生むのだらうなと思ったところです。

